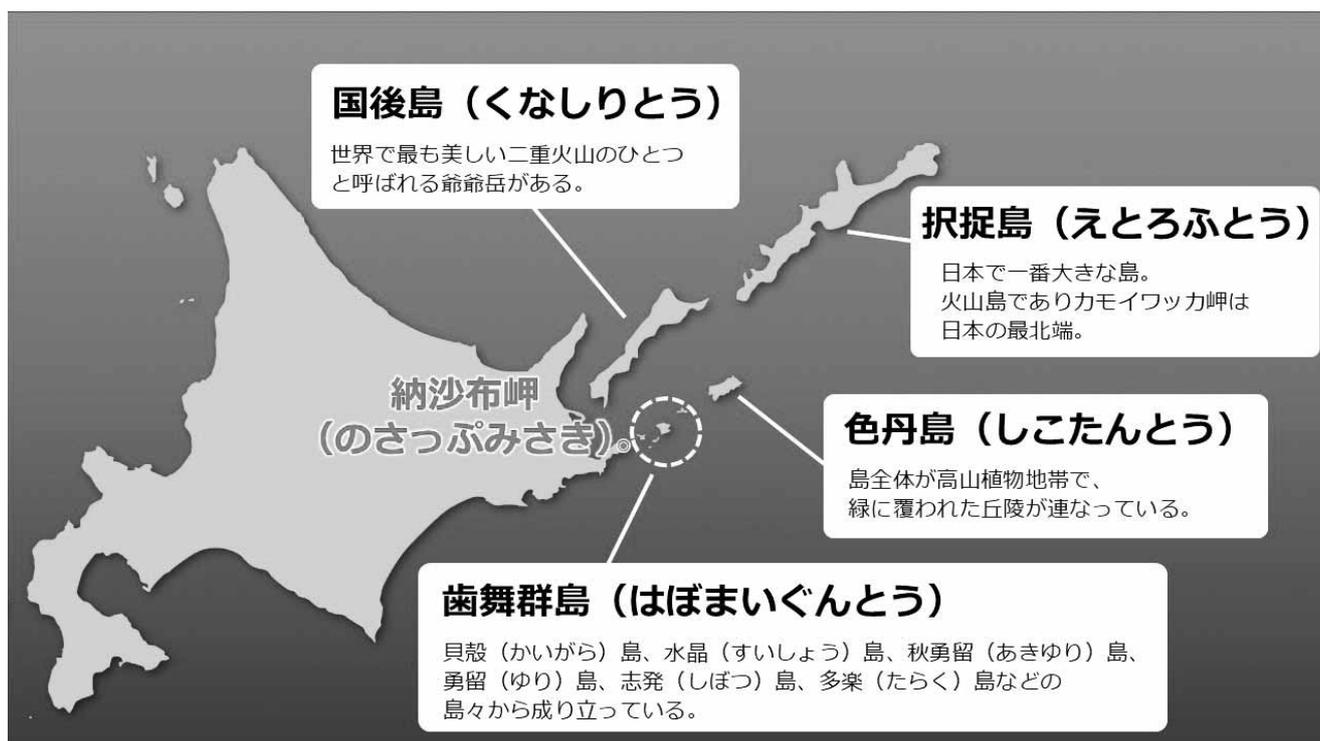


「北方領土」とは

わが国が一日も早く返ることを願い、ロシアに返還を要求している「北方領土」とは、北海道本島に近い歯舞群島（貝殻島、水晶島、秋勇留島、勇留島、志発島、多楽島）、色丹島、国後島、択捉島の四島のことです。根室半島の納沙布岬から貝殻島までは、わずか3.7キロメートルの距離にあります。（塩竈市立第二中学校～塩竈市立第三中学校間の直線距離はおよそ3キロメートル）

これらの島々は、日本がロシアより早くその存在を知り、多くの日本人がこの地域に渡り生活し、先祖伝来の地として受け継いできましたが、現在もロシアによって不法に占拠され続けています。



2月7日は「北方領土の日」

わが国は平和国家として、話し合いの中で北方領土の返還を実現させようとロシアに訴えています。このためには、国民の一致した世論のもとに訴えなければ、外交交渉も力強さがなくなってしまう。

そこで、日本政府は昭和56年1月6日の閣議で、毎年2月7日を「北方領土の日」とすることに決めました。

2月7日という日は、1855年に現在の静岡県下田市において、日魯通好条約が調印された記念すべき日です。この条約は、日本とロシアの間に通商を開くとともに、平和的な話し合いによって両国の国境を択捉島とウルップ島の間と定めたものです。

式 次 第

1. 開 会 宣 言 塩竈市地域女性団体連絡協議会会長 佐々木 和 恵
2. 主 催 者 挨 拶 北方領土返還要求宮城県民会議会長 佐々木 幸 士
宮 城 県 議 会 議 長
宮 城 県 知 事 村 井 嘉 浩
塩 竈 市 長 佐 藤 光 樹
3. 来 賓 挨 拶 塩 竈 市 議 会 議 長 浅野敏江様
4. 来 賓 紹 介
5. メッセージ及び電報披露
6. 北方領土青少年等現地視察体験発表 塩竈市立第一中学校
塩竈市立第二中学校
塩竈市立第三中学校
塩竈市立玉川中学校
塩竈市立浦戸中学校
7. 記 念 講 演 千葉工業大学特別教授
東海大学特任教授兼平和戦略国際研究所所長
上 月 豊 久 氏
8. 決 議
9. 大会旗引き継ぎ 塩竈市長から次期開催地 栗原市長へ
10. 閉 会 宣 言 宮城県地域婦人団体連絡協議会会長
鈴 木 玲 子

令和7年度北方領土青少年等現地視察事業 概要

事業趣旨 北方領土返還要求宮城県民会議が構成した青少年等現地視察団を北方領土隣接地域に派遣し、青少年に北方領土を望見してもらうとともに、元島民の体験談を聞くなどの機会を提供することにより、北方領土問題を身近な問題として捉えてもらい、本問題の一層の理解と関心を高めてもらうことを目的として実施したもの。

主催 北方領土返還要求宮城県民会議（事務局：宮城県総務部広報課内）

視察期間 令和7年8月19日(火)～21日(木) 2泊3日

視察地域 北方領土隣接地域（北海道根室市、標津町）

内容 元島民による体験談の聴講、北方領土の視察（目で見る北方領土）、啓発施設の見学など

参加者 塩竈市立第一中学校、塩竈市立第二中学校、塩竈市立第三中学校、塩竈市立玉川中学校、塩竈市立浦戸中学校の5校から中学生20名及び引率教員3名、塩竈市職員2名、県民会議職員3名、県職員1名

[合計29名]

行程

8月19日(火)	移動日（仙台空港→新千歳空港→根室中標津空港） ・北方四島交流センター視察 ・元島民 <small>つか やすじ</small> 角鹿 泰司 氏の体験談聴講
8月20日(水)	<small>の さつ ぶみ さき ぼうきょう みさき</small> 納沙布岬、望郷の岬公園（ <small>しま</small> 四島のかけ橋、北方館など）視察 ・船舶「えとぴりか」船内研修 ・ <small>しべつ</small> 標津サーモン科学館視察
8月21日(木)	移動日（根室中標津空港→新千歳空港→仙台空港）



記念講演講師

こうづき とよひさ
上月 豊久 氏 略歴



千葉工業大学特別教授、
東海大学特任教授兼平和戦略国際研究所所長

- 昭和55年10月 外務公務員採用上級試験合格
56年 3月 東京大学教養学部教養学科卒業
4月 外務省入省
平成 6年 7月 在連合王国日本国大使館 一等書記官
平成 9年 7月 在ロシア日本国大使館 一等書記官
10年 1月 同 参事官
12年 9月 北米局日米安全保障条約課長
13年 8月 大臣官房 外務大臣秘書官事務取扱
14年 2月 欧州局ロシア課企画官
3月 欧州局ロシア課長
16年 2月 大臣官房会計課長
18年 3月 大臣官房総務課長
20年 1月 在ロシア日本国大使館 公使
22年 8月 在ボストン総領事館 総領事
23年 1月 大臣官房参事官兼欧州局
10月 大臣官房審議官兼欧州局
24年 2月 大臣官房審議官兼欧州局（大使）
9月 欧州局長
26年 7月 大臣官房長
27年11月 特命全権大使 ロシア国駐^{ちゅうさつ}筋
令和 5年12月 特命全権大使退任、外務省退官

現職 千葉工業大学特別教授、東海大学特任教授兼平和戦略国際研究所所長

決 議 (案)

我が国固有の領土であるえとろふ択捉島、くなしり国後島、しこたん色丹島及びはほまい歯舞群島のほっぽう北方四島が、戦後81年となる今もなおロシアに不法占拠されていることは誠に遺憾である。

政府は、北方四島の帰属の問題を解決して平和条約を締結するとの基本方針の下、粘り強く外交交渉を続けているが、ロシアによるウクライナ侵略などにより、日露関係は厳しい状況にある。

政府においては、北方四島における共同経済活動や四島交流等事業の早期再開に向け、日露政府間での協議が進展するよう取り組むとともに、元島民を始めとする返還要求運動の担い手の高齢化が進むなか、国民各層の理解促進に向けた啓発の強化や北方領土教育を充実させ、一日も早い北方四島の返還実現を目指し、毅然とした姿勢と強い意志で外交交渉に取り組まれることを期待する。

我々はその外交交渉を後押ししていくとともに、「語るたび しまその四島がまた 近くなる」という想いを胸に、北方領土問題の周知啓発活動などの返還要求運動に取り組み、更なる世論の喚起を図ることを決議する。

令和8年2月7日

第44回「北方領土の日」宮城県塩竈集会

北方領土返還要求運動 都道府県民会議について

北方領土返還要求運動が国民運動として定着するために、各地で個別に運動を続けていた各種団体を統一し、さらに多くの国民が運動に参加できる基礎を確立することが求められていました。この声に応える形で、地域における北方領土返還要求運動の推進基盤として、北方領土の返還を要求する都道府県民会議が組織されていきました。

昭和45年には北海道以外で初めて宮城県に県民会議が組織され、その後、昭和62年の島根県における県民会議の結成をもって全都道府県に設置されました。

各都道府県民会議は、青年団体、婦人団体、労働・経済団体、行政機関等により構成され、都道府県民大会、キャラバン活動、街頭キャンペーン活動、パネル展、研修会・講演会等の事業を官民一体となり展開しています。

北方領土返還要求宮城県民会議

宮城県では、全国に先駆け、市町村・漁業団体及び県議団有志をもって昭和45年10月25日「北方領土返還促進並びに漁業の安全操業に関する宮城県民会議」を設立し、北方領土視察、県内キャラバン隊、県民集会を開催するなど、北方領土の返還促進をスローガンに様々な運動を行ってまいりました。

政府は昭和56年1月6日の閣議において毎年2月7日を「北方領土の日」と決めました。本県では県民集会を同日に開催することとし、昭和56年に仙台市において第1回県民集会を開催して以来、県内各地において開催し、今年で44回目の県民集会開催となりました。

平成14年7月、本県民会議は、北方領土返還運動を業種等にとらわれないすべての県民の運動として盛り上げていくため、名称を発展的に「北方領土返還要求宮城県民会議」と改称し、県民集会、県民フォーラムの開催や署名運動などを積極的に実施しております。

北方領土返還要求署名運動

終戦当時、北方四島に居住していた方々は17,291人とされ、この元島民で組織する千島齒舞^{ちしまはぼまい}諸島^{しよとう}居住者連盟が事務局となって昭和40年8月、札幌駅前「北方領土返還要求署名運動」が始まりました。

その後、県民会議や関係団体が署名を収集し、千島齒舞諸島居住者連盟が全国の署名を取りまとめ、衆・参両議院への請願の際に提出されています。これまで全国から寄せられた署名数は9,455万人を超えましたが、北方領土返還が実現するまで継続することとしております。

会場内にも「署名コーナー」を設置しておりますので、皆様の御協力をお願いいたします。

令和6年度北方領土返還要求宮城県民会議 署名収集数 33,324人（全国482,698人）

2月7日「北方領土の日」宮城県集会開催一覧

開催年月日	開催場所	参加者数	記念講演講師
第1回「北方領土の日」 昭和56年2月7日(土)	宮城県集會館 宮城県建設會館	200名	
第2回「北方領土の日」 昭和57年2月7日(日)	宮城県集會館 宮城県建設會館	200名	元駐ソ大使 中川融氏
第3回「北方領土の日」 昭和58年2月7日(月)	宮城県石巻集會館 石巻公民館	1,000名	北方領土問題対策協会理事 末次一郎氏
第4回「北方領土の日」 昭和59年2月7日(火)	宮城県気仙沼集會館 気仙沼市民會館	1,200名	前国際協力事業団総裁 法眼晋作氏
第5回「北方領土の日」 昭和60年2月7日(木)	宮城県塩竈集會館 塩釜商工会議所大ホール	1,000名	NHK解説委員 家城啓一郎氏
第6回「北方領土の日」 昭和61年2月7日(金)	宮城県名取集會館 名取市民會館	1,000名	元外務事務次官 法眼晋作氏
第7回「北方領土の日」 昭和62年2月7日(土)	宮城県仙台集會館 仙台市役所8Fホール	1,000名	法政大学教授 杉山茂雄氏
第8回「北方領土の日」 昭和63年2月7日(日)	宮城県古川集會館 古川市民會館	1,000名	NHK解説委員 高橋祥起氏
第9回「北方領土の日」 平成元年2月7日(火)	宮城県白石集會館 白石市民會館	1,200名	京都外国語大学教授 小谷豪治郎氏
第10回「北方領土の日」 平成2年2月7日(水)	宮城県迫集會館 迫町民体育館	1,800名	元外務事務次官 法眼晋作氏
第11回「北方領土の日」 平成3年2月7日(木)	宮城県石巻集會館 石巻市民會館	1,500名	外交評論家 澤英武氏
第12回「北方領土の日」 平成4年2月7日(金)	宮城県気仙沼集會館 気仙沼市民會館	1,000名	NHK解説委員 家城啓一郎氏
第13回「北方領土の日」 平成5年2月7日(日)	宮城県塩竈集會館 塩竈市体育館	2,500名	新樹会代表 末次一郎氏
第14回「北方領土の日」 平成6年2月7日(月)	宮城県築館集會館 栗原文化會館	1,200名	防衛大学校教授 瀧沢一郎氏
第15回「北方領土の日」 平成7年2月7日(火)	宮城県岩沼集會館 岩沼市民會館	1,300名	元駐ソ大使 鹿取泰衛氏
第16回「北方領土の日」 平成8年2月7日(水)	宮城県小牛田集會館 小牛田町文化會館	1,100名	NHK解説主幹 飯田健一氏
第17回「北方領土の日」 平成9年2月7日(金)	宮城県志津川・歌津集會館 志津川町中央公民館	1,200名	外交評論家 澤英武氏
第18回「北方領土の日」 平成10年2月7日(土)	宮城県矢本集會館 矢本町コミュニティセンター	700名	法政大学名誉教授 杉山茂雄氏
第19回「北方領土の日」 平成11年2月7日(日)	宮城県亘理集會館 亘理町中央公民館	650名	北方四島交流推進全国会議会長 関通彰氏
第20回「北方領土の日」 平成12年2月7日(月)	宮城県多賀城集會館 多賀城市文化センター	1,200名	防衛大学校教授 佐瀬昌盛氏
第21回「北方領土の日」 平成13年2月7日(水)	宮城県角田集會館 角田市市民文化センター	550名	国際問題評論家 高橋実氏
第22回「北方領土の日」 平成14年2月7日(木)	宮城県仙台集會館 仙台市民會館	850名	前駐ロシア大使 都甲岳洋氏

開催年月日	開催場所	参加者数	記念講演講師
第23回「北方領土の日」 平成15年2月7日(金)	宮城県松島集会所 松島町中央公民館	550名	北海道新聞社 論説副主幹 山谷賢量氏
第24回「北方領土の日」 平成16年2月7日(土)	宮城県女川集会所 女川町生涯教育センター	600名	法政大学名誉教授 杉山茂雄氏
第25回「北方領土の日」 平成17年2月7日(月)	宮城県塩竈集会所 塩竈市民交流センター	400名	産経新聞社正論調査室長兼論説委員 斎藤勉氏
第26回「北方領土の日」 平成18年2月7日(火)	宮城県石巻集会所 石巻市河北総合センター	413名	東京経済大学教授 兵藤長雄氏
第27回「北方領土の日」 平成19年2月7日(水)	宮城県大崎集会所 大崎市民会館	602名	元駐ソ連・ロシア大使 枝村純郎氏
第28回「北方領土の日」 平成20年2月7日(木)	宮城県栗原集会所 栗原文化会館	754名	杏林大学教授 斎藤元秀氏
第29回「北方領土の日」 平成21年2月7日(土)	宮城県南三陸集会所 南三陸町スポーツ交流村	650名	産経新聞社常務取締役東京編集局長 斎藤勉氏
第30回「北方領土の日」 平成22年2月7日(日)	宮城県気仙沼集会所 気仙沼市民会館	600名	元NHK解説主幹 飯田健一氏
第31回「北方領土の日」 平成23年2月7日(月)	宮城県東松島集会所 東松島市コミュニティセンター	550名	時事通信社仙台支社長 名越健郎氏
第32回「北方領土の日」 平成24年2月7日(火)	宮城県蔵王集会所 蔵王町ふるさと文化会館	450名	独立行政法人北方領土問題対策協会理事 茂田宏氏
第33回「北方領土の日」 平成25年2月7日(木)	宮城県大和集会所 大和町ふれあい文化センター	700名	ユーラシア21研究所理事長 吹浦忠正氏
第34回「北方領土の日」 平成26年2月7日(金)	宮城県加美集会所 加美町中新田文化会館(中新田パッハホール)	500名	国土館大学大学院客員教授 渡邊光一氏
第35回「北方領土の日」 平成27年2月7日(土)	宮城県大河原集会所 仙南芸術文化センター(えぞこホール)	450名	NHK解説委員室解説委員 山内聡彦氏
第36回「北方領土の日」 平成28年2月7日(日)	宮城県富谷集会所 富谷町武道館	700名	ユーラシア21研究所理事長 吹浦忠正氏
第37回「北方領土の日」 平成29年2月7日(火)	宮城県利府集会所 利府町総合体育館	700名	元杏林大学教授 斎藤元秀氏
第38回「北方領土の日」 平成30年2月7日(水)	宮城県登米集会所 登米祝祭劇場(水の里ホール)	600名	ユーラシア21研究所理事長 吹浦忠正氏
第39回「北方領土の日」 平成31年2月7日(木)	宮城県白石集会所 白石市文化体育活動センター(ホワイトキューブ)	500名	元NHK解説委員 山内聡彦氏
第40回「北方領土の日」 令和2年2月7日(金)	宮城県大崎集会所 大崎市民会館	600名	東海大学静岡キャンパス長 山田吉彦氏
第41回「北方領土の日」 令和5年2月7日(火)	宮城県美里集会所 美里町文化会館	340名	神奈川大学特別招聘教授 下斗米伸夫氏
第42回「北方領土の日」 令和6年2月7日(水)	宮城県七ヶ浜集会所 七ヶ浜国際村	470名	防衛省防衛研究所 兵頭慎治氏
第43回「北方領土の日」 令和7年2月7日(金)	宮城県東松島集会所 東松島市コミュニティセンター	440名	外務省欧州局ロシア課 位高やよい氏